

アイフル 株式会社

証券コード 8515

Vol.41
December 2016

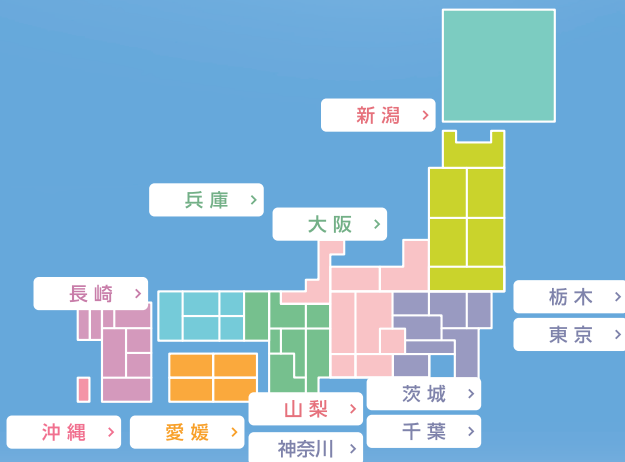
アイフル通信

第40期 中間報告 2016.4.1 ▶ 2016.9.30

AIFUL RUN!

アイフルラン

アイフルは市民ランナーの
みなさまを応援しています





株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

2017年3月期第2四半期の事業概況と 決算についてご報告申し上げます。

♥ 2017年3月期第2四半期の業績について

消費者金融業界を取り巻く経営環境は、大手各社の積極的な
広告展開などにより、新規成約件数が好調に推移しており、営業
貸付金残高も同様に着実に回復しております。

一方で業界最大の事業リスクである利息返還請求については、
足元では減少トレンドが続いているものの、引き続き注視が必要な
状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、最大の経営課題である
利息返還請求へ対応しつつ、主力事業であるローン事業のほか、
信用保証事業やクレジットカード事業など、当社グループの与信力
を活かした金融の多角化に努め、収益基盤の強化に積極的に取
り組んでおります。また、アイフル単体におきましても、テレビやWEB
を中心とした効果的な広告宣伝により、引き続き新規成約件数や
無担保ローン残高の増加に努めております。

2017年3月期第2四半期におけるアイフルグループの営業収
益は452億円(前年同期比5%増)となりました。アイフルの新規
成約件数及び貸付量が好調に推移したほか、ライフカード及びビ
ジネクストにおいても営業貸付金残高が増加に転じるなど、当期に
おいても引き続き営業貸付金残高が順調に増加していることから、
営業貸付金利息は233億円(同7%増)となっております。また、
クレジットカード事業においては、取扱高の増加に伴い包括信用購
入あっせん収益が75億円(同7%増)となったほか、信用保証収益
が62億円(同1%減)、償却債権回収額が29億円(同7%減)、アス
トライの買取債権回収高が13億円(同40%増)となっております。

一方、営業費用については425億円(同11%増)となりました。その主な要因としては、営業貸付金残高の増加に伴う貸倒関連費用が106億円(同34%増)となったほか、人件費が70億円(同7%増)となったことなどによります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの営業利益は27億円(同42%減)、経常利益は29億円(同39%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億円(同40%減)となりました。

♥ 2017年3月期の計画について

2017年3月期の計画におきましては、主力事業であるローン事業の無担保ローン残高やクレジットカード事業の割賦売掛金残高が引き続き順調に増加する見込みであります。この結果、営業収益は929億円(同6%増)の増収となる一方、営業アセットの増加に伴う貸倒関連費用や人件費の増加により、営業費用は859億円(同6%増)となる見込みです。

以上の結果、営業利益が70億円(同5%増)、経常利益が70億円(同2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益が68億円(同4%減)を計画しております。

今後におきましても、経営の最重要課題である利息返還請求へ対応しつつ、営業アセットの拡大によるトップラインの増加を図り、早期に実力黒字化を目指し、すべてのステークホルダーの皆様のご期待にお応えできるよう、全力を尽くしてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月

代表取締役社長

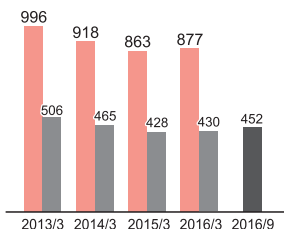
福田 名彦



営業収益

(億円)

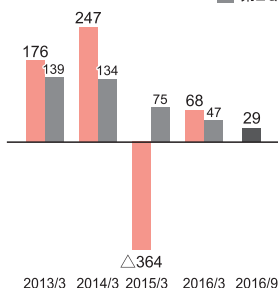
■ 通期
■ 第2Q



経常利益(損失)

(億円)

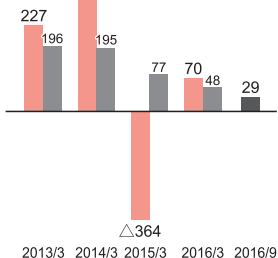
■ 通期
■ 第2Q



親会社株主に帰属する 当期純利益(損失)

(億円)

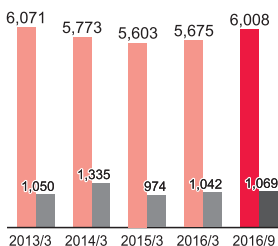
■ 通期
■ 第2Q



総資産・純資産

(億円)

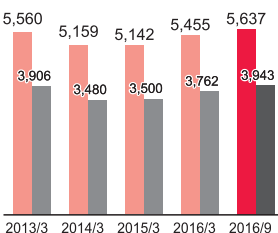
■ 総資産
■ 純資産



営業債権残高 (営業債権ベース)

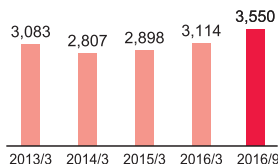
(億円)

■ 営業債権残高
■ 営業貸付金残高



有利子負債残高

(億円)



有利子負債残高は、オフバランスとなった流動化債権を含んでいます。



♥ ローン事業

グループの中核事業であるローン事業につきましては、お客様の資金ニーズに迅速に対応する為、新商品の開発等に努めております。

その結果、新規成約件数や貸付量が順調に推移し、当第2四半期末における営業債権ベースの営業貸付金残高は3,943億円（前期末比5%増）となり、順調に回復しております（債権の流動化によりオフバランスとなった営業貸付金604億円（うち無担保ローンは329億円）が含まれております）。

<無担保ローン事業>

無担保ローン事業につきましては、テレビやWEBを中心とした効果的な広告宣伝に加え、無人店舗の積極的な展開や新規顧客を対象とした無利息サービスの実施などにより、新規申込件数が20万2千件（前年同期比2%増）、新規成約件数が9万4千件（同4%増）となりました。

その結果、当第2四半期末における連結の無担保ローンにかかる口座数は85万2千件（前期末比4%増）、営業債権ベースでの残高は3,275億円（同7%増）となり、無担保ローンの増加が営業貸付金の増加に大きく寄与しております。

♥ 信用保証事業

信用保証事業につきましては、個人及び事業者の与信ノウハウや独立系の強みである「柔軟性とスピード」を活かし、各金融機関のニーズに応じた与信の提供や新商品の提案を積極的に行い、保証残高の拡大に努めております。当第2四半期末における営業債権ベースでの支払承諾見返残高は734億円（前期末比0.1%減）となりました。

♥ クレジットカード事業

クレジットカード会社であるライフカードの包括信用購入あっせん事業につきましては、新たなタイアップカードの会員募集やアフィリエイト広告の積極展開などにより、新規入会や利用促進に取り組むとともに、スマホアプリを導入するなど、カード会員様の利便性向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期末におけるカード会員数は629万人（前期末比0.0%減）、カード買上額は3,324億円（前年同期比7%増）となり、包括信用購入あっせん事業に係る営業債権ベースでの割賦売掛金残高は900億円（前期末比0.1%減）となりました（債権の流動化によりオフバランスとなった割賦売掛金28億円が含まれております）。



連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

[資産の部]	前期末 (2016年3月31日)	当第2四半期末 (2016年9月30日)
流動資産	536,021	566,534
現金及び預金	39,910	50,420
① 営業貸付金	315,546	333,979
割賦売掛金	89,202	87,159
営業投資有価証券	546	515
② 支払承諾見返	111,634	112,149
買取債権	2,854	2,602
その他	19,520	22,073
投資損失引当金	△ 5	△ 5
③ 貸倒引当金	△ 43,188	△ 42,360
固定資産	31,493	34,328
有形固定資産	17,690	17,747
無形固定資産	3,161	3,180
投資その他の資産	10,641	13,400
資産合計	567,514	600,863

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

① 営業貸付金

アイフルの無担保ローン残高の増加を主要因として、会計ベースの営業貸付金残高は前期末比184億円増(同6%増)の3,339億円となりました。なお、流動化による調達のために営業貸付金の一部をオフバランスとしております。

② 支払承諾見返

各金融機関のニーズにあった与信の提供や新商品の提案を積極的に行っており、保証残高の拡大に努めております。オフバランスとした営業貸付金(流動化債権)に対する保証を含めた、会計ベースの支払承諾見返残高は前期末比5億円増(同0.5%増)の1,121億円となりました。

③ 貸倒引当金

貸倒引当金は、当第2四半期において、貸倒損失の発生分112億円(うち、利息返還請求にかかる債権放棄は19億円)を引当金から取り崩した一方、106億円の繰入れを行った結果、前期末比8億円減(同2%減)の423億円となりました。

なお、利息返還請求にかかる債権放棄の引当金は、前期末比19億円減(同16%減)の104億円となり、利息返還請求以外の貸倒引当金は、前期末比11億円増(同4%増)の319億円となりました。

(単位:百万円)

[負債の部]**前期末**
(2016年3月31日)**当第2四半期末**
(2016年9月30日)

流動負債	237,151	256,935
支払手形及び買掛金	12,209	12,412
支払承諾	111,634	112,149
短期借入金	67,990	68,720
1年内償還予定の社債	—	2,600
1年内返済予定の長期借入金	22,318	29,645
その他	22,999	31,407
固定負債	226,112	236,987
社債	31,400	28,800
長期借入金	127,351	156,069
利息返還損失引当金	63,438	48,314
その他	3,921	3,803
負債合計	463,263	493,923

[純資産の部]

株主資本	103,609	106,588
資本金	143,415	143,454
資本剰余金	13,914	13,953
利益剰余金	△ 50,609	△ 47,708
自己株式	△ 3,110	△ 3,110
その他の包括利益累計額合計	△ 195	△ 507
新株予約権	836	858
純資産合計	104,250	106,940
負債・純資産合計	567,514	600,863

④有利子負債

資金調達が多様化を進めた結果、有利子負債が前期末比367億円増(同15%増)の2,858億円となりました。なお、債権の流動化による調達金額を含めた平均調達金利は前期末比0.29pt減の2.48%となっております。

⑤利息返還損失引当金

利息返還損失引当金は、当第2四半期において、繰入れを行わず、利息返還金151億円(前年同期比9%減)を利息返還損失引当金から取り崩したため、利息返還損失引当金残高は、前期末比151億円減(同24%減)の483億円となりました。

なお、利息返還請求にかかる債権放棄の引当金104億円と合わせて、利息返還損失関連の引当金総額は、前期末比171億円減(同23%減)の587億円となりました。

⑥純資産

純資産は、当第2四半期において29億円の親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことにより、前期末比26億円増(同3%増)の1,069億円となりました。



連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計期間 (2015年4月1日から 2015年9月30日まで)	当第2四半期 累計期間 (2016年4月1日から 2016年9月30日まで)
⑦ 営業収益	43,093	45,221
営業貸付金利息	21,745	23,327
包括信用購入あっせん収益	7,044	7,511
個別信用購入あっせん収益	59	53
信用保証収益	6,301	6,236
その他の金融収益	4	1
その他の営業収益	7,937	8,091
営業費用	38,426	42,509
⑧ 金融費用	3,686	3,959
⑨ 貸倒関連費用	7,940	10,642
⑩ 利息返還関連費用	—	—
⑪ その他の営業費用	26,799	27,907
営業利益	4,667	2,711
営業外収益	143	356
営業外費用	15	162
経常利益	4,795	2,905
税金等調整前当期純利益	4,795	2,905
法人税、住民税及び事業税等	27	150
法人税等調整額	△ 82	△ 145
⑫ 親会社株主に帰属する当期純利益	4,849	2,900

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

⑦営業収益

営業収益は、前年同期比21億円増(同5%増)の452億円となりました。営業貸付金利息収入においては、営業貸付金残高の増加に伴い前年同期比15億円増(同7%増)の233億円となりました。このほか、クレジットカード事業においては取扱高の増加に伴い、包括信用購入あっせん収益が前年同期比4億円増(同7%増)の75億円となった一方、保証事業における信用保証収益は前年同期比0.6億円減(同1%減)の62億円となりました。

⑧金融費用

金融費用については、調達金利が2.48%(前期末比0.29pt減)と順調に低下しておりますが、有利子負債残高の増加により、前年同期比2億円増(同7%増)の39億円となりました。

⑨貸倒関連費用

貸倒関連費用においては、営業アセットの増加に伴い、貸倒引当金の繰入れを行った結果、貸倒関連費用は前年同期比27億円増(同34%増)の106億円となりました。

⑩利息返還関連費用

当期においては利息返還関連費用の繰入を行わず、利息返還の発生分全額を引当金より取り崩しております。

⑪その他の営業費用

テレビやWEBを中心とした積極的な広告展開、営業アセットの増加に伴う人員の増加などにより、その他の営業費用は前年同期比11億円増(同4%増)の279億円となりました。

⑫親会社株主に帰属する当期純利益

以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は29億円(前年同期比40%減)となりました。



連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計期間 (2015年4月1日から 2015年9月30日まで)	当第2四半期 累計期間 (2016年4月1日から 2016年9月30日まで)
⑬ 営業活動による キャッシュ・フロー	△ 910	△ 21,720
⑭ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,917	△ 4,546
⑮ 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 16,578	36,759
現金及び現金同等物に係る 換算差額	16	△ 61
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 19,389	10,430
現金及び現金同等物の 期首残高	52,586	39,906
現金及び現金同等物の 期末残高	33,196	50,336

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

⑬ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に営業貸付金の増加による資金の減少などにより、217億円(前年同期は9億円の使用)の資金を使用しております。

⑭ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産、投資有価証券の取得による支出などにより、45億円(前年同期比137%増)の資金を使用しております。

⑮ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済を借入による収入が上回ったことにより、367億円(前年同期は165億円の使用)の資金を得ております。



(2016年9月30日現在)

会社概要

商号	アイフル株式会社 (AIFUL CORPORATION)
本社所在地	京都市下京区烏丸通五条上る高砂町381-1
創業	1967年(昭和42年)4月
設立	1978年(昭和53年)2月
資本金	1,434億54百万円
代表者	代表取締役社長 福田 吉孝
社員数	1,473名(連結)
店舗数	912店
ホームページ	http://aiful.jp

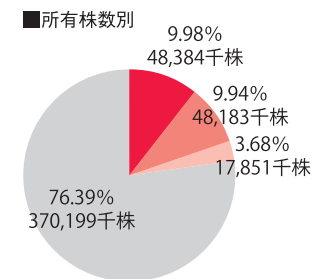
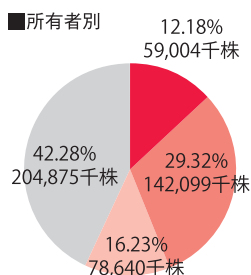
株式構成

発行可能株式総数	1,136,280,000株
発行済株式総数	484,619,136株
(内、自己株式)	916,890株
株主数	38,762名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社AMG(福田吉孝一族の資産管理会社)	94,814	19.56
福田 光秀	62,155	12.83
株式会社丸高(福田吉孝一族の資産管理会社)	24,543	5.06
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	21,825	4.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,045	3.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,148	2.92
HSBC-FUND SERVICES CLIENTS A/C 500 HKMPF 10PCT POOL	6,600	1.36
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	6,098	1.26
BNY GCM CLIENT ACCOUNT J PRD AC ISG(FE-AC)	3,617	0.75
松井証券株式会社	3,565	0.74

株式分布図



■ 金融機関等 ■ その他の法人
■ 外国法人等 ■ 個人・その他

■ 1万株未満 ■ 1万株以上 5万株未満
■ 5万株以上 10万株未満
■ 10万株以上



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および 特別口座の 口座管理機関 同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031

インターネットホームページURL

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

単元株式数	100株
公告方法	電子公告
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
銘柄コード	8515

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

アイフルグループのホームページでは、会社情報、サービス内容、IR情報など最新の情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



アイフルIRウェブサイト

<https://www.ir-aiful.com/>

アイフル株式会社

<http://www.aiful.co.jp/>

ライフカード株式会社

●クレジットカード・法人カード

<http://www.lifecard.co.jp/>

●プリペイドカード V-Precard

<http://vpc.lifecard.co.jp/>